

様式第 2 4 号 別紙 2 (診療用高エネルギー放射線発生装置の届出)

病院 (診療所) 名称		整理番号		1	2	3
所在地		区分				
診療用高エネルギー放射線発生装置	製作者名					
	型 式					
	定格出力 (単位: MeV)	エックス線				
		電 子 線				
製造年月日						
装置の防護	発生管容器の漏洩線量 (利用線錘の放射線量の 1 / 1000 以下)		適・否	適・否	適・否	適・否
	照射終了直後の不必要な放射線からの被曝低減措置		適・否	適・否	適・否	適・否
	放射線発生自動表示装置		有・無	有・無	有・無	有・無
	インターロック		有・無	有・無	有・無	有・無
使用室	使用室名					
	使用室の構造					
	材質等	天井				
		床				
		壁				
	画壁の外側における実効線量 (最大値を記入。単位:mSv/週)					
	出入口 (1 箇所)		適・否	適・否	適・否	適・否
	放射線発生自動表示装置		有・無	有・無	有・無	有・無
	使用室である旨の標識		有・無	有・無	有・無	有・無
使用室内のエックス線装置の使用						
エックス線装置使用時の防護措置						
管理区域	管理区域である旨の標識		有・無	有・無	有・無	有・無
	管理区域外側における実効線量 (最大値を記入。単位:mSv/3月)					
	管理区域の境界におけるその他の立入禁止措置		適・否	適・否	適・否	適・否
その他	注意事項の掲示 (従事者)		有・無	有・無	有・無	有・無
	注意事項の掲示 (患者)		有・無	有・無	有・無	有・無
	敷地内の居住区域及び境界の実行線量 (最大値を記入。単位:μ Sv/3月)					
	放射線診療従事者等の被ばく防止措置		適・否	適・否	適・否	適・否
被ばく防止のための器具 (器具名を記入)						
従事者の被ばく測定方法 (測定器具名を記入)						
診療用高エネルギー放射線発生装置を使用する医師、歯科医師、診療放射線技師	職種名	氏名	免許番号	放射線診療に関する経歴		

[別紙 記入要領]

- 1 診療用高エネルギー放射線発生装置の届出は、病院（診療所）として診療用高エネルギー放射線発生装置全体を届出するものであり、個々の診療用高エネルギー放射線発生装置の更新等の場合も、全装置を記載すること。
- 2 「整理番号」は、病院（診療所）における診療用高エネルギー放射線発生装置の台数が分かるよう「1」から連番とすること。
- 3 「区分」は、新設・廃止・更新等、診療用高エネルギー放射線発生装置毎の届出の理由を記入すること。なお、更新については、例えば、「整理番号1の更新」等更新前の装置が分かるようにすること。
- 4 「使用室の構造」は、耐火構造、不燃材料使用、その他の別を記入し、その他の場合は具体的内容を記入すること。なお、使用室の材質の全部又は一部が相違する場合は「材質等」の「天井」、「床」、「壁」の欄に耐火構造等について記入すること。

[添付書類]

- 1 診療用高エネルギー放射線発生装置の位置を記した診療用高エネルギー放射線発生装置使用室の平面図及び側面図。（装置からの天井、壁、床までの距離及び防護物の材料、厚さを示してください）
- 2 施設の防護に関する検査・測定結果（責任者の所属、職氏名を記したもので施工業者・測定業者のものでも可。）及び測定器の校正証明書の写し。理論計算により規制値を算出した場合はその計算書。
- 3 管理区域を明示した高エネルギー放射線診療関係施設の平面図
- 4 高エネルギー放射線診療関係施設の周囲の状況のわかる平面図の概念図（上下階を含む）。
- 5 機器の性能等を記した仕様書
- 6 移動型については保管場所を記した平面図